

人体寸法・形状データ更新 プロジェクト研究会 第1回研究会



2015年11月30日

16 : 00 ~ 18 : 00

一般社団法人人間生活工学研究センター
(HQL)



次第

1. 趣旨、スケジュール説明：HQL
2. HQL会長挨拶
3. 研究会主査挨拶
4. 参加者自己紹介
5. 話題提供「計測技術と情報社会」：主査 30分
6. ミニプレゼンテーション「人体寸法・形状データの活用事例と更新プロジェクトへの期待について」：アシックス様 20分
7. 意見交換（公的資金獲得に向けて）： 45分
テーマ：「新しいビジネスの創出、地方創生に寄与するデータのあり方とは」 「今までにないデータ収集のアイデア」)
8. まとめ：主査
9. 今後の予定：事務局



配布資料

- 第1回研究会 参加者名簿
- 「計測技術と情報社会」
- 「人体寸法・形状データの活用事例と更新プロジェクトへの期待について」



本日のメンバー

主査	美濃 導彦 教授（京都大学 学術情報メディアセンター）
産	株式会社アシックス グンゼ株式会社 積水ハウス株式会社 日産自動車株式会社 マツダ株式会社 株式会社モリタホールディングス
県立センター	奈良県産業振興総合センター 兵庫県立工業技術センター

（敬称略・五十音順）



守秘に関して

- 研究会内限りのもの、研究会外へ公表可
のものとの区別



研究会立ち上げの背景

- HQLでは、現在、「日本人の人体寸法データベース2004-2006」の人体寸法データの提供を行っており、多くの企業で製品開発などに利用されている。
- このデータベースは、2004～2006年度に、経済産業省からの委託を受けて、首都圏や近畿圏で約6,700人の日本人について1人あたり217項目の寸法を計測するプロジェクト（size-JPN）を行い収集したものである。
- 計測開始から11年がたち、新しいデータに対する要望が多数寄せられている。



研究会の趣旨・活動概要

● 目標

- 時代に合った、人体寸法・形状データの更新プロジェクトを立ち上げる。

● 活動概要

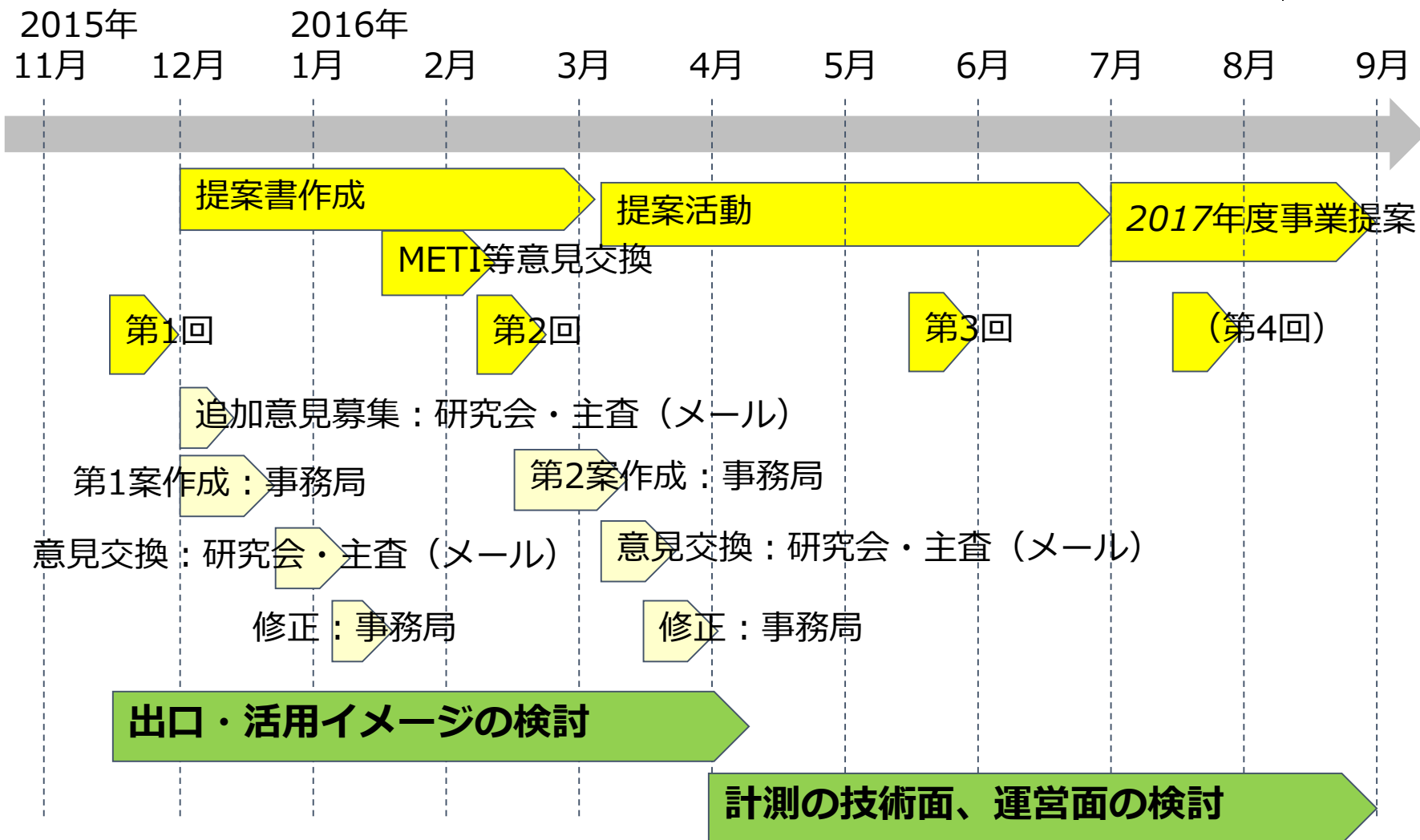
- 公的資金獲得のための情報収集と提案書作成
- 計測の技術面・運営面の情報共有・合意形成
- データベース構築、管理、提供に関する情報共有

● 実施方法

- 2か月に1回程度のプロジェクト会議（定例会）
- メールベースの情報共有、意見交換



スケジュール





2.HQL会長挨拶

3.主査挨拶

4.参加者自己紹介



5. 話題提供

- 美濃主査より

「計測技術と情報社会」



6.ミニプレゼンテーション

- アシックス様より

「人体寸法・形状データの活用事例と更新プロジェクトへの期待について」



7.意見交換（公的資金獲得に向けて）

- 話題提供、ミニプレゼンテーションへの質疑、コメント
- 新しいビジネスの創出、地方創生に寄与するデータのあり方とは
 - ・各企業、各業界、各地域の現状と今後（予想）
 - ・それらを踏まえたデータの活用と出口イメージ
- 今までにない（時代に合った）データ収集のアイデア
 - ・こんなデータはこんな方法で収集できそう
 - ・こんな企業とコラボするとこんなデータが収集できそう
 - それらにはこんな利点がある
- その他情報提供



8.まとめ

- 美濃主査より



9. 今後の予定

～12月7日	追加意見募集（メール）	研究会・主査
～12月19日	第1案作成	事務局
12月22日～28日	意見交換（メール）	研究会・主査
1月5日～15日	修正	事務局
1月中旬～2月上旬の間	METI等意見交換	事務局
2月中旬	第2回研究会	